

第2回 三大学学生交流課題研究会議

本事業は、本学と鹿児島国際大学、松本大学の三大学間による包括連携協定に基づき、国内の地方都市に所在する三大学の学生が、地域や社会的課題についてテーマを設定し、学生間で議論・交流等を行うことを目的としています。

年に一度、各大学が持ち回りで会場を担当しており、毎回、会議のまとめとして、学生が議論した内容を方策や提言として発表しています。



今年度のテーマは、『食と観光』

開催日程：令和5年9月6日(水)～8日(金)

開催場所：札幌大学

参加学生数：札幌大学8名、鹿児島国際大学6名、松本大学7名

【スケジュール】

9月6日(水)

- 民族共生象徴空間ウポポイ見学

7日(木)

- 開会：開催校学長・学生代表挨拶
(札幌大学 大森学長、武蔵奏多さん)

- 食と観光プレゼン
- グループディスカッション
- 中間発表
- グループワーク
- 学生交流会

8日(金)

- グループ発表
- 講評
(松本大学 尻無浜副学長)
- 閉会：次回開催校学長・学生代表挨拶
(鹿児島国際大学 小林学長、早田篤広さん)
- 市内巡見

今年「食と観光」をテーマにしました。札幌大学として「ウポポイ」の観光ガイドで活躍できる学生、北海道の食文化「さっぽろオータムフェスト」を体験してもらいました。今年の実績は今後「3大学フェスタ」の実現に向けた取組を行うこと。三大学間の魅力の情報発信と次年度に向けた学生同士の意見交換の機会を継続することです。期待しています。



【札幌大学地域連携センター長】
小山 茂 副学長

1日目 民族共生象徴空間ウポポイ見学

北海道の歴史・文化を語るうえで欠かすことのできないアイヌ文化について、「民族共生象徴空間ウポポイ」をフィールドに、札幌大学ウレシパクラブに所属するリベラルアーツ専攻4年の結城泰さん、歴史文化専攻4年の今井とわさん、歴史文化専攻3年の後藤小華さん、歴史文化専攻3年の岸愛香さんの学生4名が施設を案内しました。

ウポポイでは、グループワークの班ごと、4つのコースに分かれ、それぞれで異なる体験・見学をしました。ウレシパの学生の中には、ウポポイでのインターンシップ経験がある学生やガイド経験のある学生もあり、自身が培ってきた経験や学んできた知識を交えながら慣れた様子で、ウポポイ・アイヌ文化についての説明をしていました。

鹿児島国際大学と松本大学の学生たちは、初めて触れる文化に刺激を受けたようで、学生間で積極的に質問するなど、アイヌ文化に対して、理解を深める様子が見受けられました。

Aグループ

- ①着物着用体験
- ②博物館見学
- ③伝統芸能「シノツ」観覧



▶ 学生ガイドの下、博物館を見学しました

Bグループ

- ①博物館見学
- ②工房見学
- ③伝統芸能「シノツ」観覧



▶ アイヌ工芸品の製作風景を観覧しました

Cグループ

- ①博物館見学
- ②着物着用体験
- ③伝統芸能「シノツ」観覧



▶ チセにて、着物着用体験をしました

Dグループ

- ①工房見学
- ②博物館見学
- ③伝統芸能「シノツ」観覧



▶ 時間の限り、施設内を見て回りました

2日目

各大学プレゼンテーション・グループワーク

大学紹介を皮切りに、各大学が所在する地域について、それぞれの食文化や観光資源などを中心にプレゼンテーションを行いました。その後、三大学混成の4つのグループに分かれ、各グループで決めたテーマに沿って、ディスカッションとグループワークを行いました。

本学から参加した学生の中には、2022年度からスタートしたみらい志向プログラムの1つ、「ビジネス創成『食・観光』プログラム」を学ぶ学生もおり、自身の学んでいる知識を活かし、札幌・松本・鹿児島それぞれの地域で異なる視点から、活発な議論が行われました。

本事業の開始前から、学生たちはSNS等で交流・議論を深めていましたが、ほとんどが今回、初めての対面となるため、最初は緊張した面持ちでした。しかし、時間が経つにつれ、笑い声とともに活発に意見交換する様子が見られるようになりました。



札幌大学
SAPPORO UNIVERSITY

経済学専攻4年 武蔵奏多さん
2年 土門隼人さん、廣坂凌太さん
敦賀公平さん、久我啓介さん
経営学専攻2年 伊藤侑華さん、己扇彩葉さん
山館奈央子さん

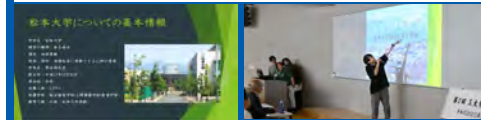


本学学生がファシリテーターを務めました



松本大学
学校法人松本学園

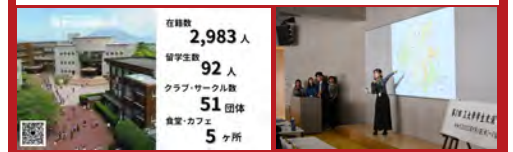
観光ホスピタリティ学科4年 川上夏希さん
3年 中村直渡さん
総合経営学科
4年 神戸美乃里さん
1年 田中さくらさん
塩原 優芽さん
学校教育学科
3年 清水 大輔さん
1年 菊池 翔さん



最終日に向け、中間発表を行いました



国際文化学科3年 早田篤広さん
和志武紗華さん
山口さくらさん
北愛未さん
前田つぐみさん
山田奈知さん



内容のブラッシュアップに取り組みました



本学経営学専攻2年の山館奈央子さんがファシリテーターを担い、グループワーク・ディスカッションの円滑な進行に努めました。



各グループでディスカッションした内容をまとめ、全体共有を図りました。中間発表を行うことで、内容の土台を固めることができました。



中間発表を受けて、お互いに意見を出し合いながら、足りない視点や必要な情報などを精査し、最終日に向けた、内容のブラッシュアップを図りました。

昼食を取りながら、交流を深めました

発表に向けた、資料の作成を行いました

夜は、BBQ学生交流会を行いました



学食にて、グループごとに会話を楽しみながら、昼食を取りました。午後の活動に向け、交流を深める時間となりました。



PPTを活用して、グループワーク・ディスカッションの内容を資料にまとめました。お互いに意見を出し合いながら、構成にもこだわりを持って制作しました。



夜は、セミナーハウスにて、BBQを楽しみながら、交流を深めました。1日の疲れを感じさせないほど終始盛り上がりで、笑顔溢れる会となりました。



3日目

各大学プレゼンテーション・グループワーク

最終日は、グループワーク・ディスカッションで議論を深めた成果を発表しました。

学生は異なる文化を持つからこそ、互いに気づきや刺激となり、それぞれの地域の特徴について理解を深めることができました。グループ発表では、それぞれのグループごとに異なる視点・観点から「食と観光」の連携により期待される地域活性化に向けた様々なアイデアが披露されました。

最後は、松本大学の尻無浜副学長より、グループごとに講評をいただき、3日間の行程を終了しました。



『各地域での食文化の違い』



『各地域が食と観光を通じて魅力を伝えるために、大学生ができること』



『観光で食を楽しむために～観光客が楽しむには食べ歩きかお店で楽しむか～』



『食をメインとした観光スタイルを持続化させるためには何ができるか』

市内巡見

発表終了後は、グループごとに市内巡見を行いました。事前にグループごとでルートを決め、北海道の観光資源を実際に見て、触れることで、知識だけではなく、経験として知見を深めることができました。

時計台



JRタワー



オータムフェスト



【札幌大学学生代表】
経済学専攻4年 武蔵 奏多さん

コロナの影響により、対面での交流が少なくなりましたが、今回の取組を札幌大学で実施するとともに、他大学の学生と交流を深めることができ良かったです。グループリーダーとしての難しさや経験の浅さを痛感しましたが、今回、得た経験や知識を今後の大学・社会人生活に活かしていきたいです。



【鹿児島国際大学学生代表】
国際文化学科3年 早田 篤広さん

それぞれが持つ文化によって、考えや視点が異なり、面白い交流となりました。この経験を活かし、自分が住む地域を活性化させるためのヒントにしていきたいです。また、実際に、北海道の観光資源を見て、触れることができ良かったです。特に、エスコンフィールド北海道で野球観戦が出来たのは一生の思い出です！



【松本大学学生代表】
学校教育学科3年 清水 大輔さん

本取組を通じ、三大学の学生間で交流を深めるとともに、「食と観光」について、互いの地域の特徴を活かした良い話し合いができました。アイヌ文化やオータムフェストなど、北海道の文化に触れることで、とてもよい経験・学びになりました。今回議論した内容を現実的に実践するため、今後も継続的に交流していきたいです。

